

I 気象

I-1 地上風

平成 24 年度の地上風の年間及び四季別概要は、大気常時測定局の主要 15 局についてとりまとめを行い、図 I-1-1 から図 I-1-5 に示したとおりである。

以下は平成 24 年度の各地域の地上風の概要である。

- (1) 野田地域
年間では西北西及び南南東の風の出現率が高い。
- (2) 東葛地域
年間では北西、北東及び南西の風の出現率が高い。
- (3) 葛南地域
年間では北北西、南西から南の風の出現率が高い。
- (4) 千葉地域
年間では北北西から北東及び南西の風の出現率が高い。
- (5) 市原地域
年間では北から北西及び南東から南南東の風の出現率が高い。
- (6) 君津地域
年間では北から北東及び南南西の風の出現率が高い。
- (7) 印西地域
年間では北から北東及び南西の風の出現率が高い。
- (8) 成田地域
年間では北西、東及び西南西の風の出現率が高い。
- (9) 北総地域
年間では北西、北東及び南の風の出現率が高い。
- (10) 九十九里地域
年間では北西から北東及び南南西の風の出現率が高い。
- (11) 長生・夷隅地域
年間では西北西及び南の風の出現率が高い
- (12) 南房総地域
年間では西、北及び南東の風の出現率が高い

差し替え

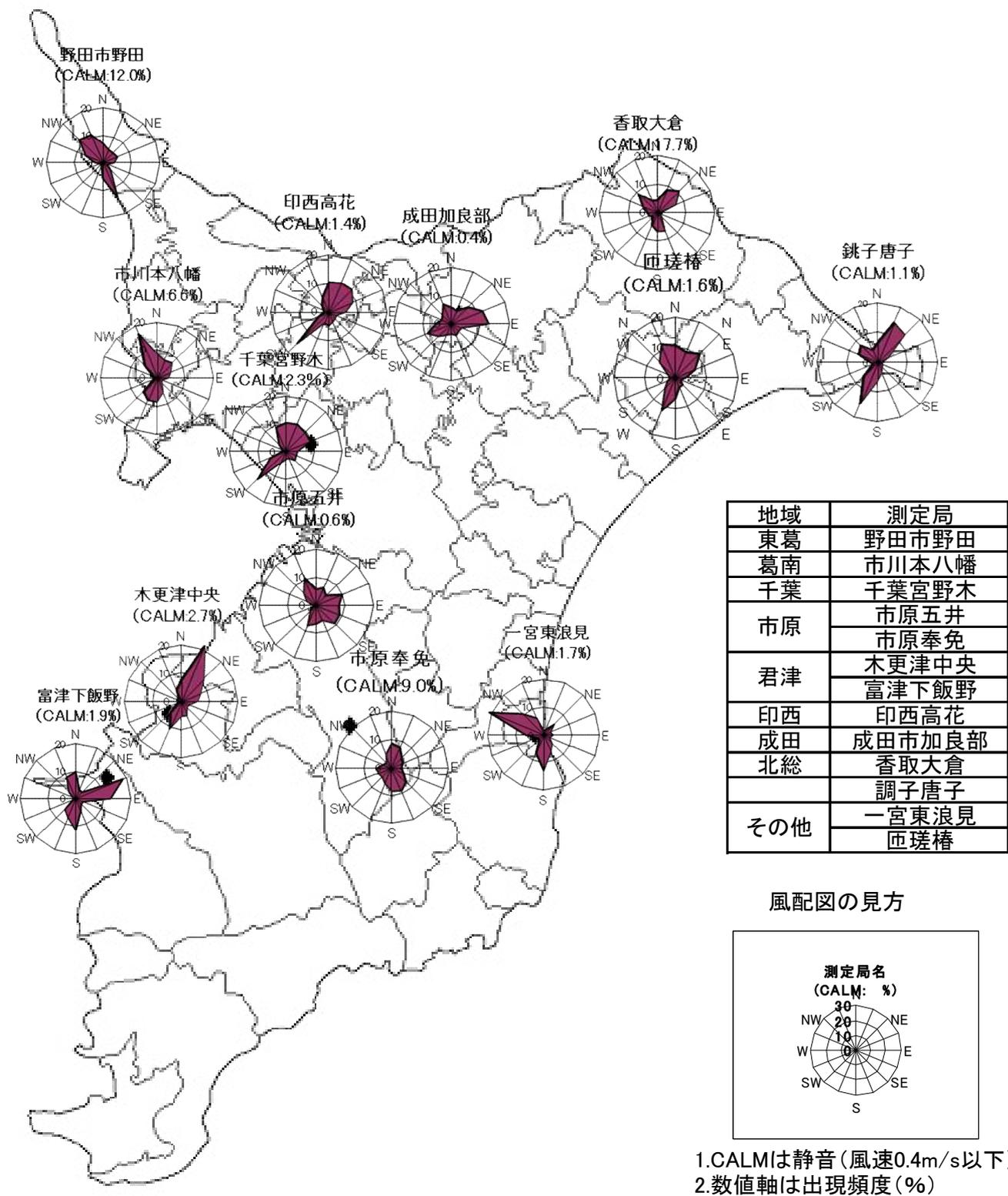
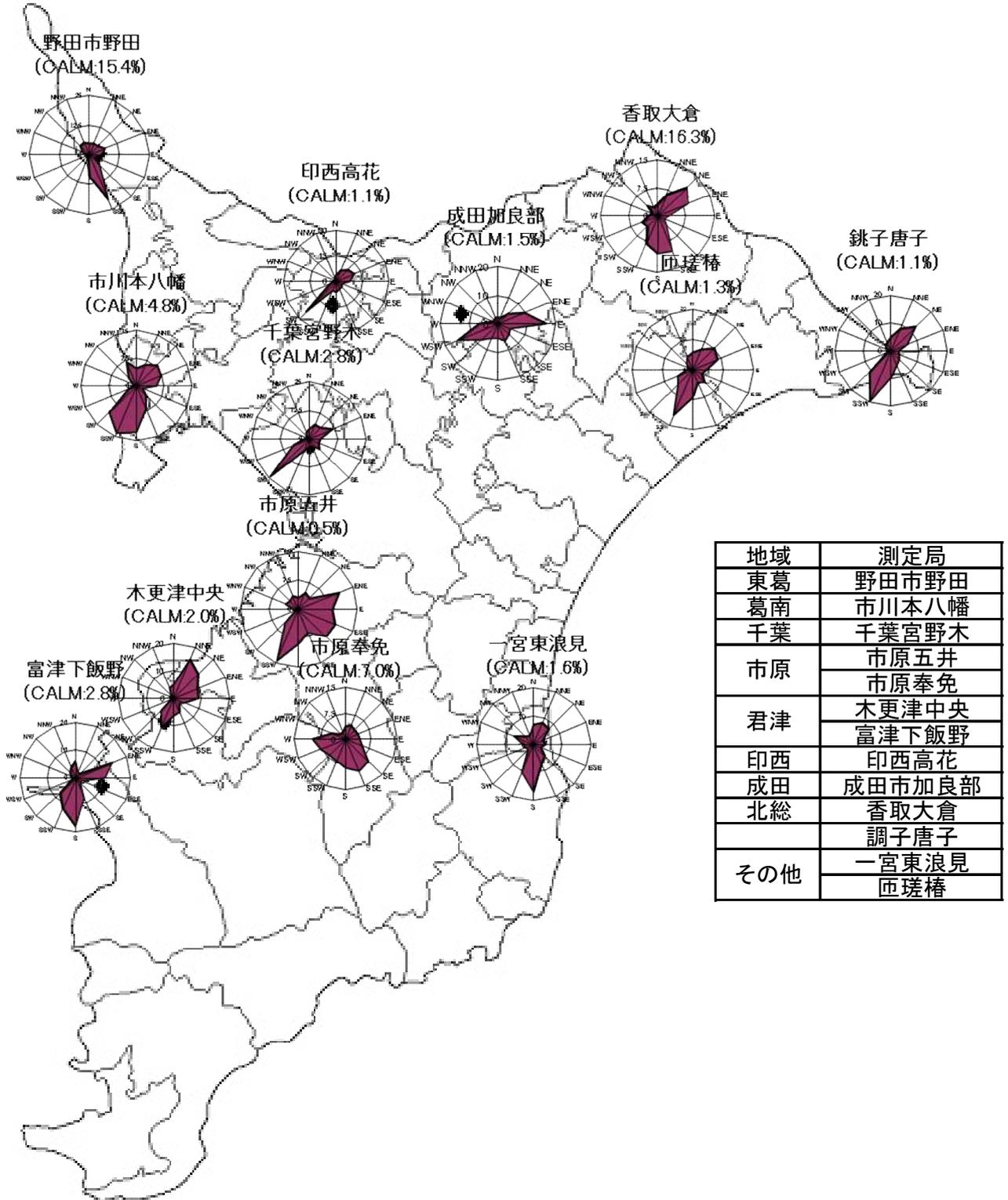


図 I-1-1 年間風配置図 (23年4月~24年3月)

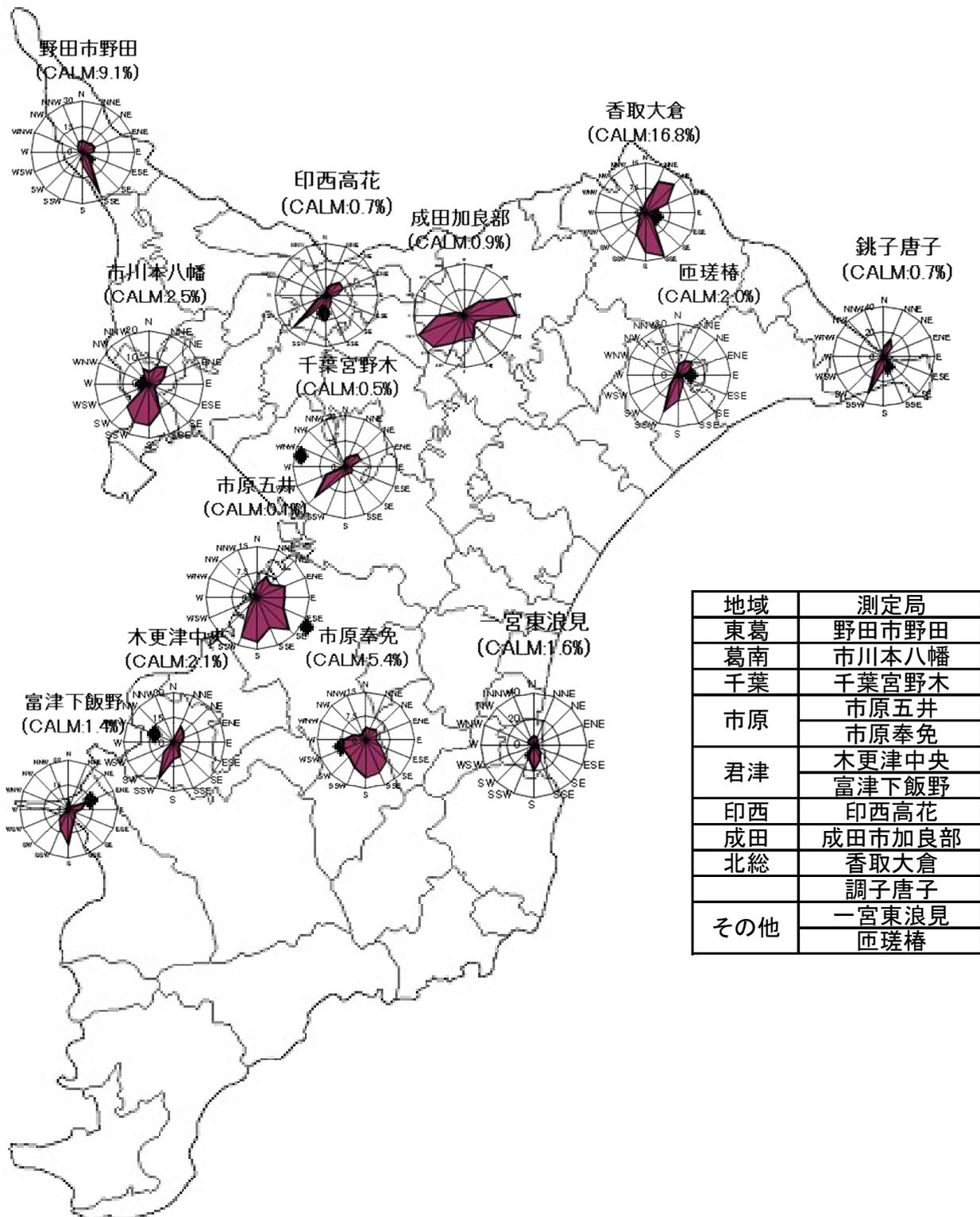
差し替え



地域	測定局
東葛	野田市野田
葛南	市川本八幡
千葉	千葉宮野木
市原	市原五井
	市原奉免
君津	木更津中央
	富津下飯野
印西	印西高花
成田	成田市加良部
北総	香取大倉
	調子唐子
その他	一宮東浪見
	匝瑳

図 I -1-2 春期風配置図 (23 年 4 月~23 年 6 月)

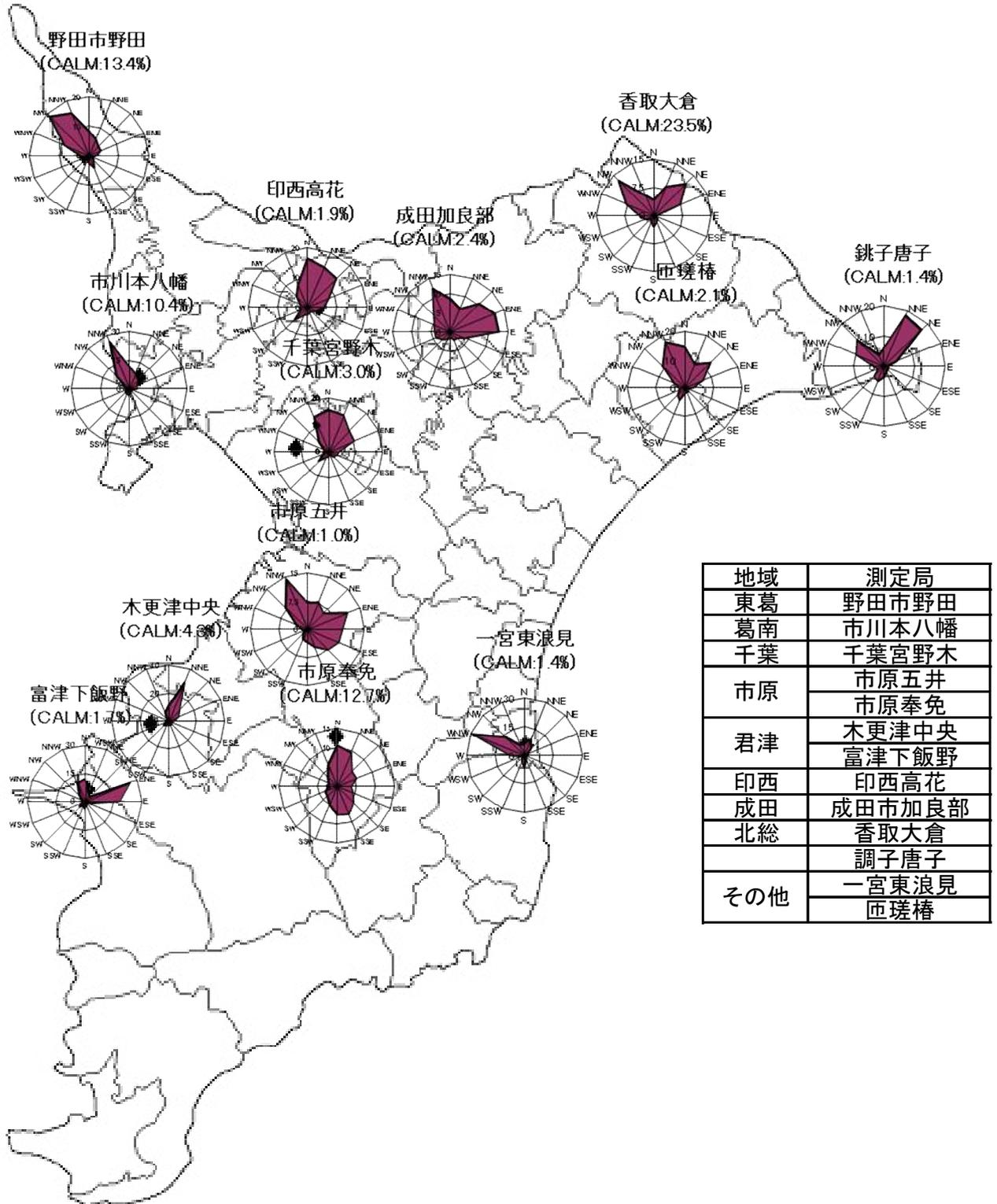
差し替え



地域	測定局
東葛	野田市野田
葛南	市川本八幡
千葉	千葉宮野木
市原	市原五井
	市原奉免
君津	木更津中央
	富津下飯野
印西	印西高花
成田	成田市加良部
北総	香取大倉
その他	銚子唐子
	一宮東浪見
	匝瑳椿

図 I-1-3 夏期風配置図 (23年7月~23年9月)

差し替え



地域	測定局
東葛	野田市野田
葛南	市川本八幡
千葉	千葉宮野木
市原	市原五井
	市原奉免
君津	木更津中央
	富津下飯野
印西	印西高花
成田	成田市加良部
北総	香取大倉
	調子唐子
	一宮東浪見
その他	匝瑳椿

差し替え

図 I-1-4 秋期風配置図 (23年10月~23年12月)

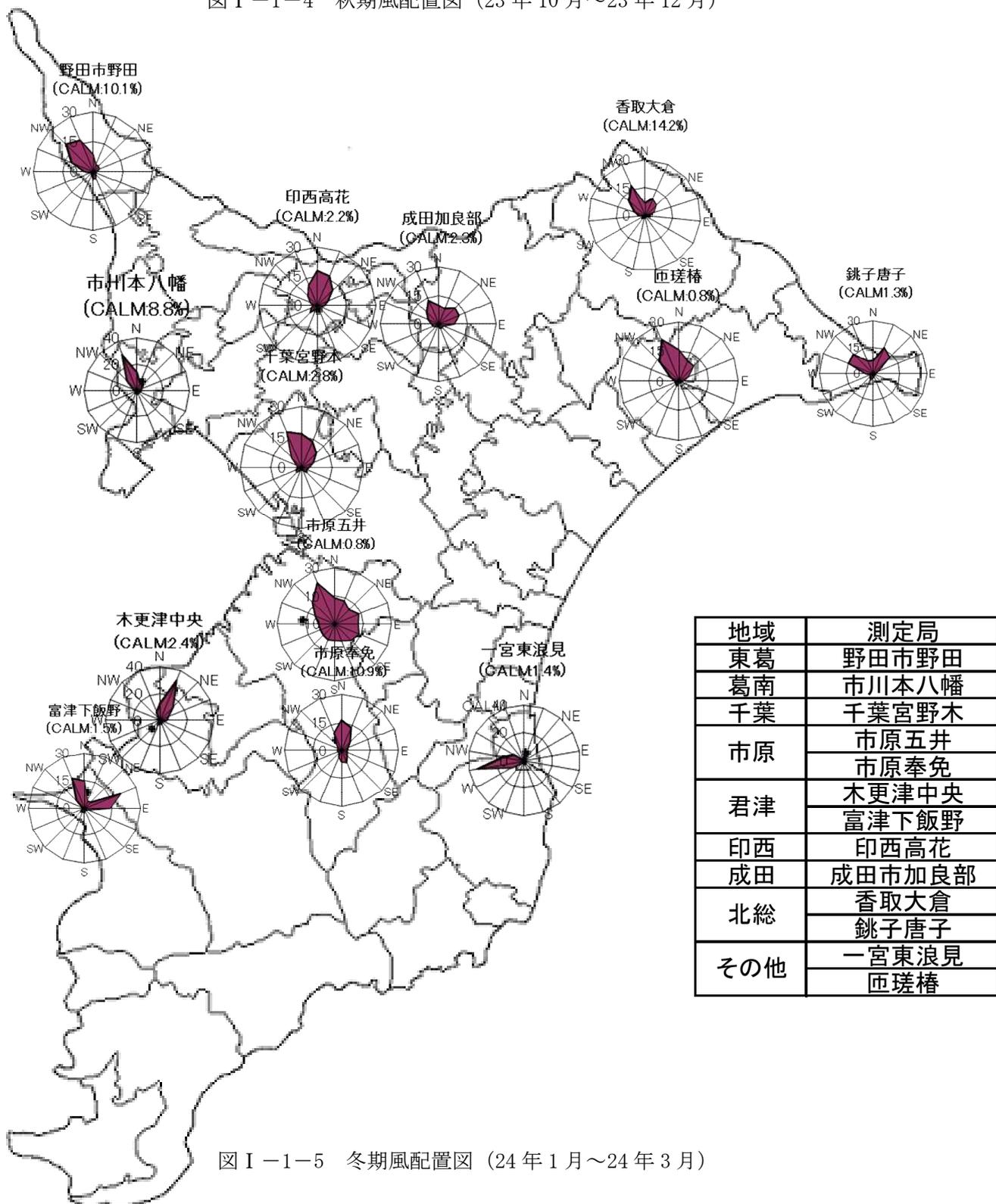


図 I-1-5 冬期風配置図 (24年1月~24年3月)

I-2 鉛直気温差

県内には高度別の気温、風向及び風速を常時観測するため、船橋市三山のテレビ塔に船橋三山立体局を設置し、上層気温と大気汚染状況の関係を検討するため、データの収集を行っている。

冬季の大気汚染物質濃度の上昇等は、上層気温と地上気温の差（鉛直気温差）に密接に関係している。表 I-2-1 に過去 5 年間の鉛直気温差 +0.5℃以上の月別出現状況を示す。また、表 I-2-2 は地上の気温及び高度別に地上との気温差の月間平均値を示した。

表 I-2-1 日平均鉛直気温差 + 0.5℃以上の出現状況(逆転層)

年度/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
20	0	0	0	0	0	0	0	1 (1.0)	2 (0.9)	1 (0.5)	0	0	3 (1.0)
21	0	0	0	0	0	0	0	2 (0.5)	2 (0.9)	2 (0.7)	1 (0.7)	0	7 (0.9)
22	0	0	0	0	0	0	0	2 (0.9)	3 (0.6)	0	0	0	5 (0.9)
23	0	0	0	0	0	0	0	3 (0.6)	5 (1.0)	1 (0.6)	1 (0.5)	0	10 (1.0)
24	0	0	0	0	0	0	0	3 (0.7)	6 (1.3)	1 (1.2)	1 (0.5)	0	11 (1.3)

備考1 日平均気温鉛直差 = (1 2 2 m 気温 - 地上気温) の日平均値

備考2 下段 () 内は日平均鉛直気温差の月間最大値 (℃)

表 I-2-2 気温及び気温差の月間平均値

測定項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
気温 (7.5m)	13.1	18.7	20.1	25.1	28.0	25.2	18.2	11.7	6.0	4.4	5.2	10.7
気温差1 (43.5m)	-0.4	-0.4	-0.4	-0.5	-0.5	-0.4	-0.2	0.0	0.0	0.0	-0.3	-0.4
気温差2 (88.0m)	-0.8	-0.8	-0.9	-1.0	-1.0	-0.8	-0.5	-0.1	0.0	-0.1	-0.5	-0.7
気温差3 (122.3m)	-1.0	-1.0	-1.2	-1.3	-1.3	-1.1	-0.7	-0.2	-0.1	-0.3	-0.7	-0.9

I-3 日射量

日射量の測定は 10 局で行っている。

全日射量の月間積算値について全地点平均値で見ると、例年、光化学スモッグの発生しやすい 4 月から 9 月と 3 月に大きい。平成 24 年度は図 I-3-1 及び表 I-3-1 に示したとおり、8 月に最も大きい値となった。

また、全日射量の日最高値 (1 時間値) は図 I-3-2 及び表 I-3-2 のとおりであり、5 月から 7 月に見られた。

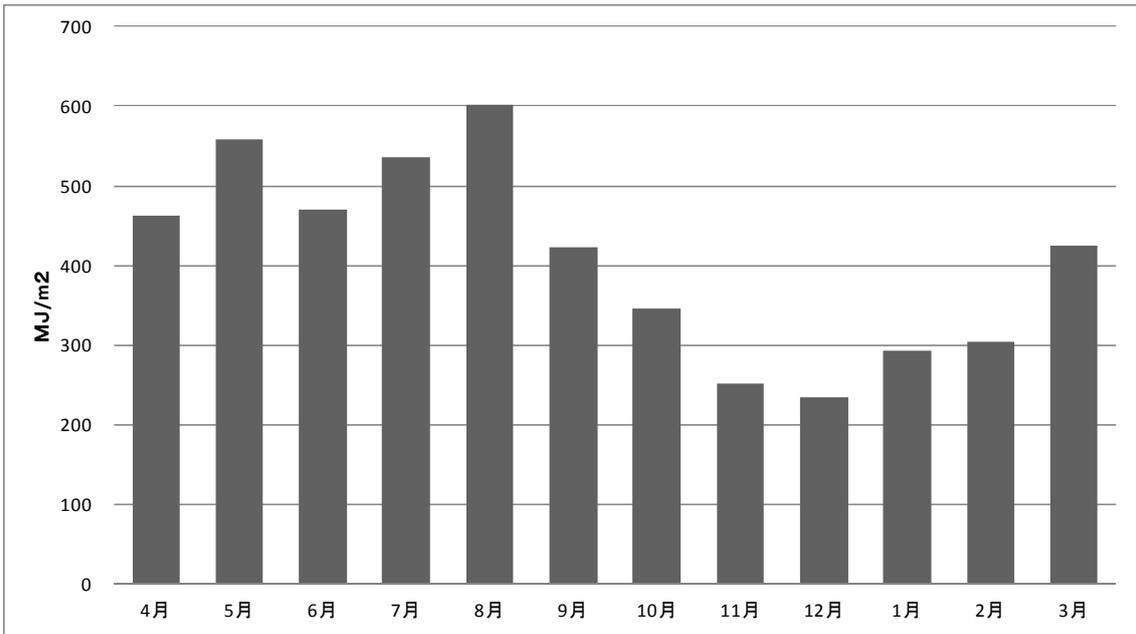


図 I -3-1 全日射量月間積算値の経月変化

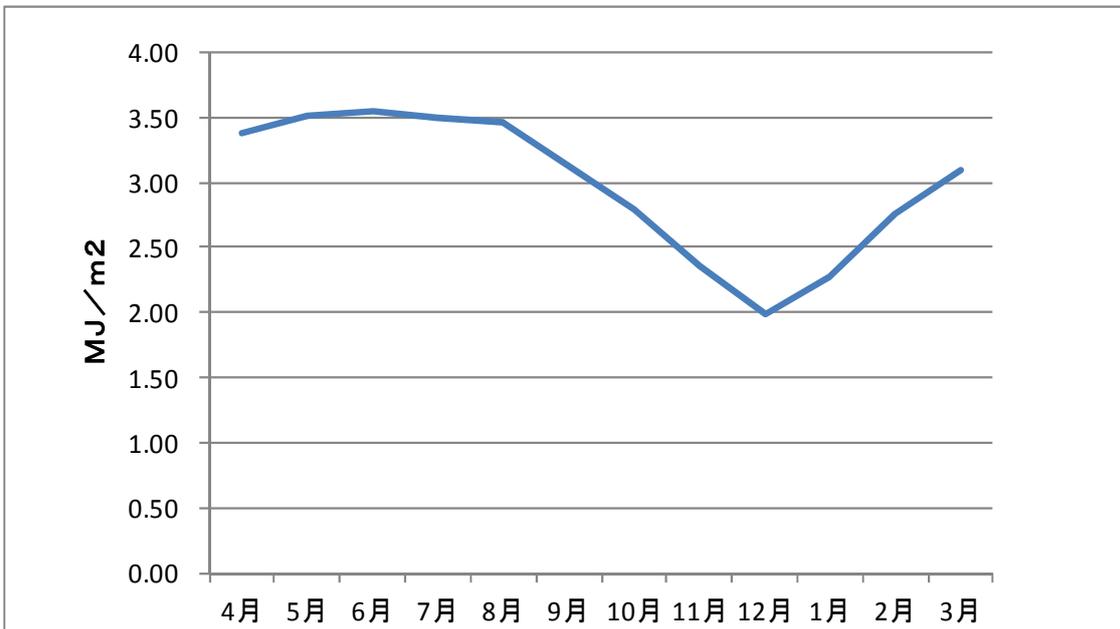


図 I -3-2 全日射量日最高値の経月変化

表 I-3-1 日射量積算値 (月間)

	(MJ/m ²)											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
松戸根本	457	559	493	537	603	421	354	253	243	317	331	442
市川本八幡	484	573	496	561	655	456	370	273	251	324	336	448
習志野東習志野	491	576	463	560	624	444	354	268	250	317	335	452
千葉宮野木	457	534	446	513	574	402	333	225	208	285	307	412
市原岩崎西	447	537	454	522	542	408	337	255	236	175	301	405
市原郡本	462	558	483	537	581	414	341	239	236	296	299	418
市原平野	418	535	428	503	569	382	299	219	204	270	250	373
袖ヶ浦横田	468	571	479	538	621	441	350	255	239	317	288	424
君津久保	458	569	452	542	621	441	361	255	237	306	288	438
富津小久保	481	581	458	566	643	448	372	273	255	340	299	460
成田幡谷	469	544	510	516	596	398	328	241	217	283	309	402
平均	463	558	469	536	603	423	345	251	234	294	304	425

表 I-3-2 日射量日最高値 (1時間値)

	(MJ/m ²)											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
松戸根本	3.41	3.53	3.58	3.52	3.50	3.11	2.76	2.33	2.02	2.30	2.81	3.13
市川本八幡	3.41	3.45	3.57	3.52	3.36	3.16	2.81	2.46	2.00	2.31	2.81	3.14
習志野東習志野	3.49	3.71	3.77	3.49	3.52	3.17	2.88	2.45	2.03	2.36	2.92	3.56
千葉宮野木	3.34	3.41	3.46	3.41	3.31	3.01	2.80	2.51	1.99	2.31	2.78	3.00
市原岩崎西	3.33	3.46	3.36	3.44	3.33	3.02	2.80	2.33	1.99	2.28	2.76	3.06
市原郡本	3.38	3.53	3.47	3.51	3.49	3.34	2.87	2.43	1.99	2.32	2.77	3.02
市原平野	3.21	3.42	3.55	3.31	3.53	2.96	2.61	2.09	1.69	1.99	2.52	2.72
袖ヶ浦横田	3.38	3.53	3.51	3.49	3.51	3.18	2.84	2.38	2.00	2.25	2.70	3.13
君津久保	3.37	3.54	3.56	3.53	3.55	3.30	2.86	2.36	2.01	2.26	2.83	3.09
富津小久保	3.37	3.55	3.59	3.74	3.54	3.11	2.71	2.32	2.11	2.37	2.76	3.09
成田幡谷	3.44	3.53	3.61	3.43	3.47	3.06	2.80	2.35	1.96	2.25	2.72	3.01
平均	3.38	3.51	3.55	3.49	3.46	3.13	2.79	2.36	1.98	2.27	2.76	3.09

I-4 降水量

平成24年度における本県の降水量は、表I-4-1のとおりである。

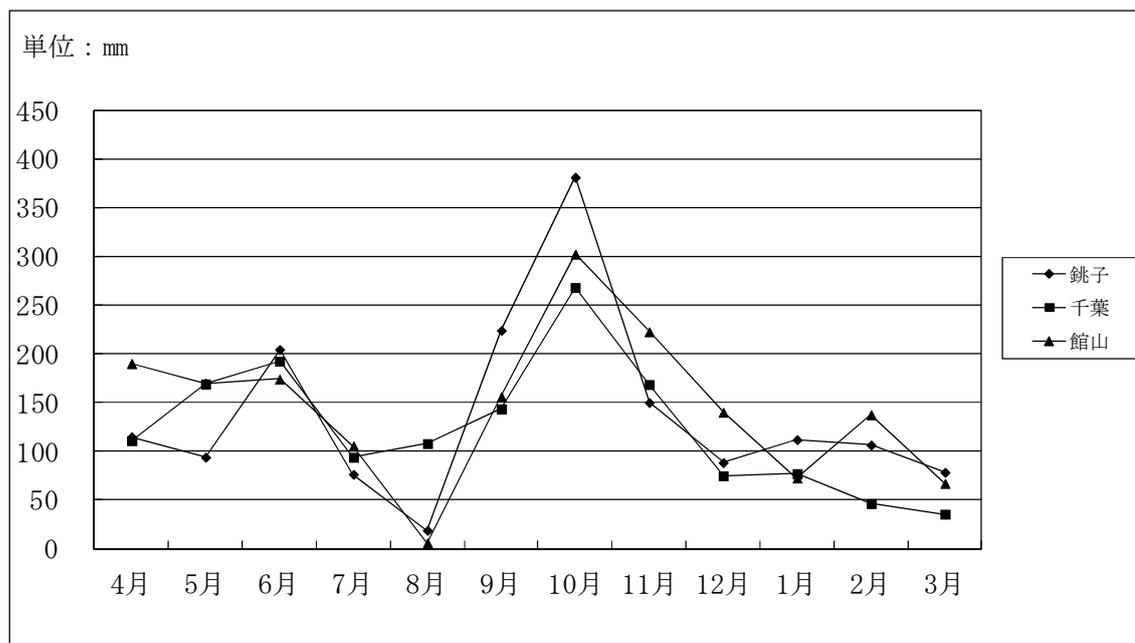
また、月毎の降水量は、表I-4-2及び図I-4-1のとおりであり、銚子、千葉、館山とも10月に多く、千葉を除き8月に少なかった。

表I-4-1 過去5年の降水量

地点\年度	(mm/年)				
	20	21	22	23	24
銚子	1,986.0	1,873.0	1,492.0	1,514.5	1,649.5
千葉	1,665.5	1,672.0	1,458.0	1,330.5	1,488.5
館山	1,965.0	1,894.5	1,929.0	1,744.5	1,743.0

表I-4-2 月別降水量（千葉県気象概況より）

地点\月	(mm/月)												
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
銚子	115.0	94.0	204.5	76.5	19.0	224.0	381.0	150.0	88.5	112.0	106.5	78.5	1,649.5
千葉	111.0	169.0	192.5	94.0	108.0	143.5	268.0	168.5	75.0	77.0	46.5	35.5	1,488.5
館山	190.0	170.0	174.0	105.5	6.0	156.0	302.0	222.5	140.0	72.5	137.5	67.0	1,743.0



図I-4-1 月間降水量の経月変化